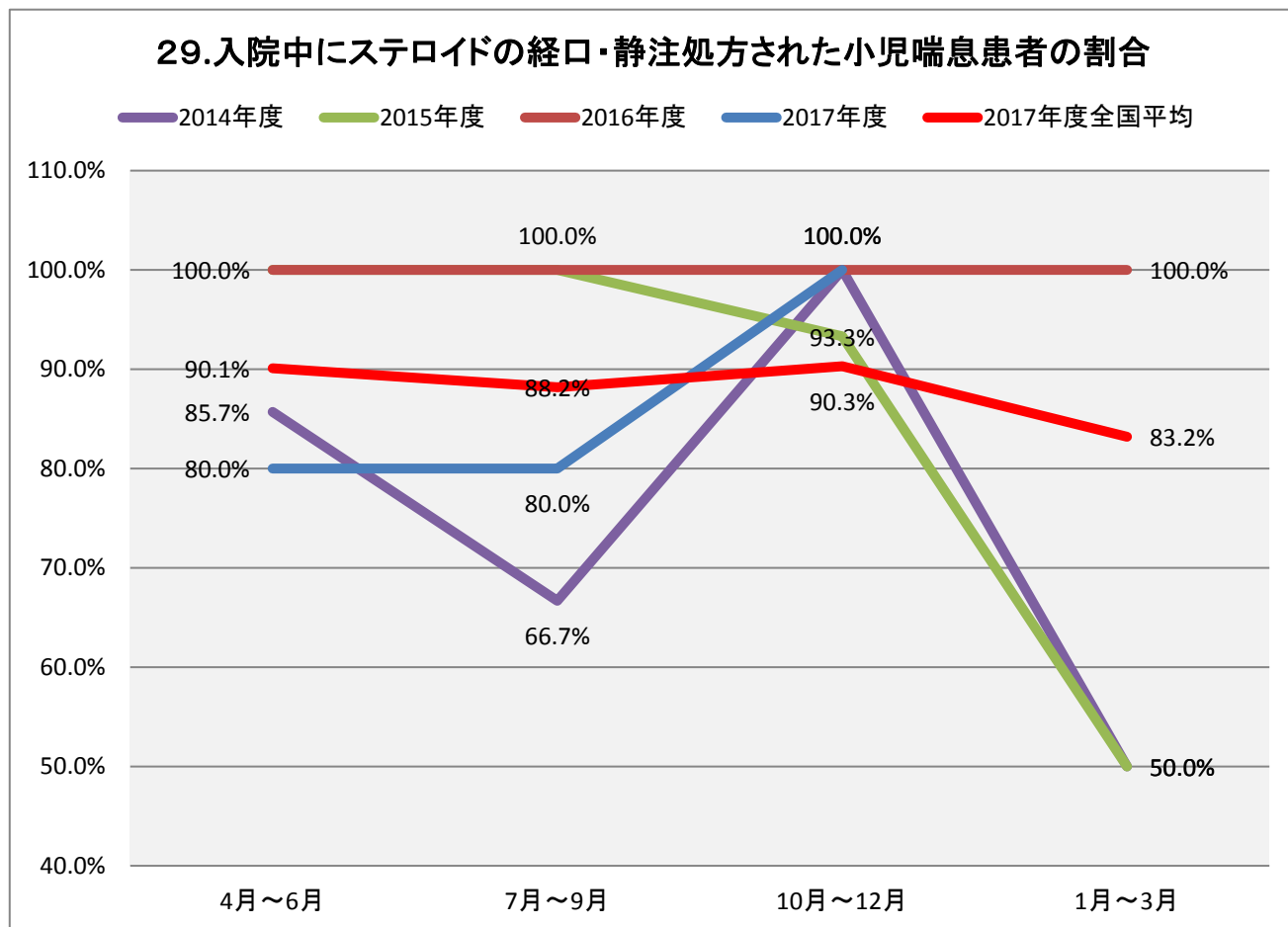


## 29.入院中にステロイドの経口・静注処方された小児喘息患者の割合

### (1) 調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2017年度	80.0%	80.0%	100.0%	-
2016年度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2015年度	100.0%	100.0%	93.3%	50.0%
2014年度	85.7%	66.7%	100.0%	50.0%
2017年度全国平均	90.1%	88.2%	90.3%	83.2%

### (2) 指標の説明

小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2012において、喘息発作の強度に応じた薬物療法が基本治療(ステップ1)となります。吸入ステロイドの処方ステップ2以上になります。薬物療法は、早期に十分な効果が得られたのちに良好な状態を維持できる必要最少量まで徐々に減量するほうが、小児患者の生活の質(QOL)の向上のためには好ましいと考えられています。

### (3) 定義

分子: 分母のうち、入院中にステロイドの全身投与(静注・経口処方)を受けた患者数  
 分母: 2-15歳の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で入院した患者数

### (4) 考察

当院では、適応のある患者さんに早期投与できるよう体制をさらに強化し、高い投与率になるよう努めています。  
 今後も継続していきたいと考えています。